

ACD2DRV(C) ACD3DRV(C)



Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

AutoCAD を利用した変換ソフト Raster 出力(KDdriver 出力対応)

本社：パッケージ販売部
〒221-0056

横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル

TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501

URL：<https://www.kernelcomputer.co.jp>

特長

1. AutoCAD(標準版)を利用して、AutoCAD データ (DXF, DWG) をラスターに変換します。AutoCAD(標準版)から弊社プリンタドライバ KDdriver_long for Windows に直接印刷することで、精度の高い変換結果が得られます。
2. モデル空間、ペーパー空間共に変換可能です。
3. AutoCAD データに貼り付けられたイメージデータや OFFICE 等の OLE データもそのまま変換可能です。
4. 出力フォーマットがマルチページに対応している場合は、シングルページとマルチページの選択が可能です。
5. 元の図面サイズを反映して変換できます。この場合は、図面にページ設定をしておく必要があります。
6. ダイアログアプリケーション(GUI)としてもバッチアプリケーション(CUI)としてもご利用できます。
7. バッチ変換による連続実行が可能です。
8. 変換時に、図面のスタイルに設定されているフォントがサポートファイルに存在するかチェックを行えます。
9. 標準版以外の AutoCAD 製品(AutoCAD Mechanical 等)が同時にインストールされている共存環境での動作も確認できております。(標準版を利用した動作のみの確認となっています。)
10. レイヤーの表示・非表示を設定することが可能です。
11. A 系列以外のカスタム用紙サイズ名を変換時に指定することが可能です。
12. ACD2DRV, ACD2DRVC, ACD3DRV, ACD3DRVC は、それぞれ ACD2RS, ACD2RSC, ACD3RS, ACD3RSC の上位製品であり、各製品の機能が使用可能です。

主な編集機能

- (1) シングルページ/マルチページ変換、縮尺/回転/原点移動
- (2) モノクロ/カラー変換
- (3) 長尺変換

注意事項

本アプリケーションを使用するには Autodesk 社製品の AutoCAD(標準版)が必要です。

AutoCAD Mechanical 版には対応していませんが、AutoCAD Mechanical をインストールする際に同時にインストールされる標準の AutoCAD を使用しての変換は可能です。

対応 AutoCAD

AutoCAD 2010, AutoCAD 2011, AutoCAD 2012, AutoCAD 2013, AutoCAD 2014, AutoCAD 2015, AutoCAD 2016
AutoCAD 2017, AutoCAD 2018, AutoCAD 2019, AutoCAD 2020

以下のバージョンは、KDdriver_long for Windows を使用した変換の場合に対応しています。

AutoCAD 2021, AutoCAD 2022, AutoCAD 2023, AutoCAD 2024

対応 OS

Windows 7 / Windows 8 / Windows 10 / Windows 11

- ・使用する AutoCAD の対応 OS によって異なります。
- ・ACD*DRV や ACD*DRVC は KDdriver_long for Windows を使用します。OS に依存した処理を行うため OS ごとに製品が異なります。なお、KDdriver_long for Windows は ACD*DRV(C) に付属しておりますので、別途購入する必要はありません。
- ・Windows 11 は KDdriver_long for Windows を使用した変換の場合に対応しています。

標準価格

- | | |
|---|---------------|
| (1) AutoCAD / Raster (2 値) 変換 (ACD2DRV) | : 45 万円 (税抜き) |
| (2) AutoCAD / Raster (2 値/カラー) 変換 (ACD2DRVC) | : 50 万円 (税抜き) |
| (3) AutoCAD / Raster (2 値) 変換 (長尺) (ACD3DRV) | : 55 万円 (税抜き) |
| (4) AutoCAD / Raster (2 値/カラー) 変換 (長尺) (ACD3DRVC) | : 60 万円 (税抜き) |

基本画面

◆ ファイル設定

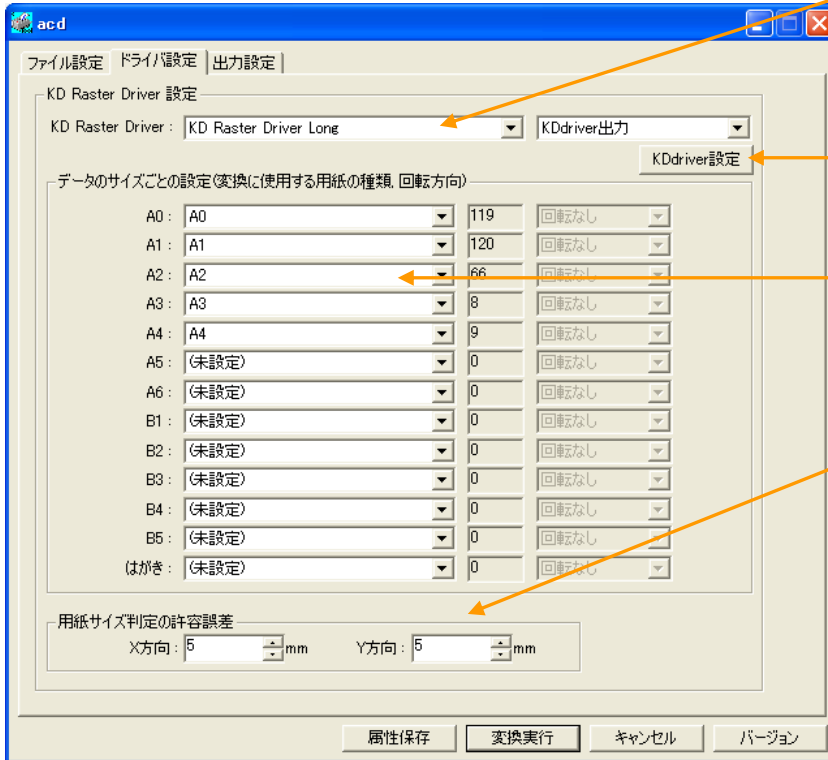
The screenshot displays the 'acd' software interface with the 'ファイル設定' (File Settings) tab selected. The main window contains several input fields for file names and a '格納先選択' (Select Storage Location) button. A callout box points to this button, stating: '出力用紙サイズごとに格納先選択 変換結果を用紙サイズごとに別のフォルダに振り分けることが可能です。' (Select storage location by output paper size. Conversion results can be distributed to different folders by paper size.)

A second callout box points to the '格納先選択' button, stating: '出力用紙サイズごとの格納先選択 「格納先選択」ボタンを押すと右のダイアログが表示されます。用紙サイズごとの格納先フォルダを選択します。参照ボタンからの指定も可能です。' (Select storage location by output paper size. Pressing the 'Select Storage Location' button displays the dialog on the right. Select the storage location folder by paper size. Designation from the reference button is also possible.)

The sub-dialog '出力用紙サイズ毎の格納先' (Storage Location for Each Output Paper Size) is open, showing a list of folders for paper sizes A0 through B5. The folders are: A0: C:\Program Files\KDCConvert\outA0, A1: C:\Program Files\KDCConvert\outA1, A2: C:\Program Files\KDCConvert\outA2, A3: C:\Program Files\KDCConvert\outA3, A4: C:\Program Files\KDCConvert\outA4, A5: ..., A6: ..., A0L: ..., A1L: ..., A2L: ..., A3L: ..., A4L: ..., B1: ..., B2: ..., B3: ..., B4: ..., B5: ...

Other callouts in the image include: '入力ファイル名 出力ファイル名 ログファイル名 XML ログファイル名' (Input file name, Output file name, Log file name, XML log file name) pointing to the top input fields; '参照ボタン(ファイルダイアログで指定)' (Reference button (designated in file dialog)) pointing to the '...' buttons; and '変換設定' (Conversion Settings) and '長尺設定' (Long Scale Settings) buttons.

◆ ドライバ設定



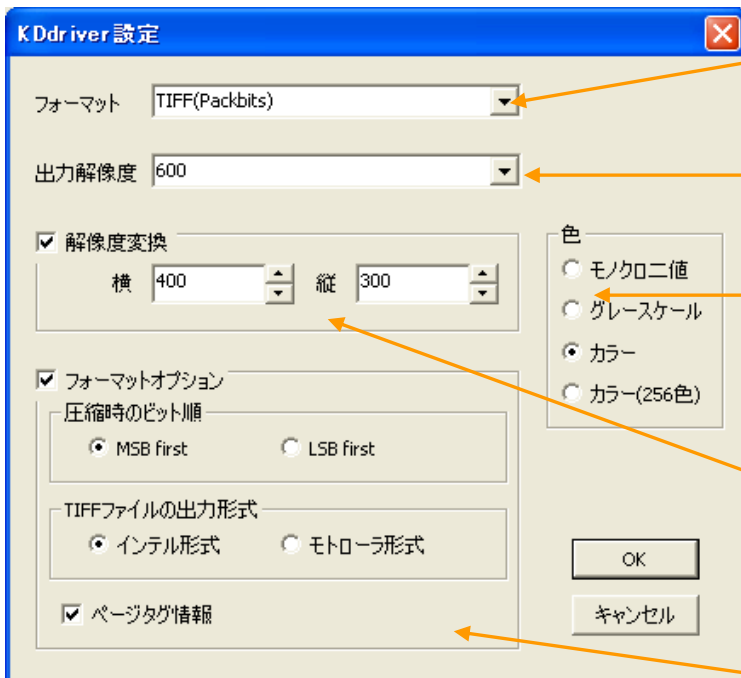
KD Raster ドライバ名
KD Raster ドライバを選択します。

KDdriver 設定ボタン
KDdriver の印刷設定を変更します。

用紙
データの用紙サイズごとに、実際に印刷に使用する用紙を指定します。

用紙サイズ判定の許容誤差
用紙サイズを判定する際の許容誤差を設定します。

◆ KDdriver 設定



出力フォーマット
出力フォーマットを指定します。ACD2DRVC と ACD3DRVC のみ、カラーフォーマットが選択可能です。

出力解像度
印刷解像度を指定します。

色
出力するラスターデータの色を設定します。ACD2DRVC と ACD3DRVC のみ設定可能です。

解像度変換
[出力解像度]で印刷されたラスターの色を変換します。横・縦それぞれの方向に任意の値が指定可能です。

フォーマットオプション
出力するフォーマットに関する設定を変更します。

◆ 出力設定

出力対象空間指定
変換対象をモデル空間とするか、ペーパー空間とするかを指定します。

印刷領域指定
印刷領域に「図面範囲」、「窓」、「オブジェクト範囲」のいずれかを指定します。

印刷オフセット
印刷オフセットの「印刷の中心」を指定します。デフォルトで指定されています。

印刷尺度
印刷尺度を設定します。元データに設定されている印刷尺度の使用も可能です。

レイヤー表示非表示設定
レイヤーの表示非表示を設定したテキストファイルを指定します。

窓設定
各レイアウトに最大 8 個の窓が指定できます。

出力対象空間: モデル空間 ペーパー空間

印刷領域: 図面範囲 窓 オブジェクト範囲

印刷オフセット: 印刷の中心

印刷尺度: カスタム: 0.00 設定単位 = 0.00 作図単位

レイヤー表示非表示設定: レイヤー表示ファイル名: C:\Program Files\KDconvert\layer.txt

「窓」設定: 窓座標ファイル名: インデックス桁数: 1

レイアウト毎の座標設定: 左下 X: 0.00 Y: 0.00 右上 X: 0.00 Y: 0.00

レイアウトNo: 1 レイアウト名:

保存 クリア

属性保存 変換実行 キャンセル バージョン

主な制限事項

- ◆ モデル空間とペーパー空間のページ設定で用紙サイズを選択(ページ設定)してください。
- ◆ 変換中に AutoCAD 画面が表示されますが、**オペレーティングを行わないでください**。
正常に変換が行われない場合があります。
もし、オペレーティングを行い AutoCAD が終了されなかった場合、特に問題はありませんが
手動で AutoCAD を終了させてください。また、**非表示の状態ではまっている場合**もありますので、
その場合は**タスクマネージャから AutoCAD を終了**してください。
- ◆ **AutoCAD LT では動作しません**。
- ◆ パラメータは大文字、小文字どちらでも指定できますが、全角文字は使えません。
また、パラメータとファイル名、ドライバ名等の間に空白を入れないでください。
- ◆ 「窓」の範囲はレイアウトごとに指定可能です。レイアウト 1 つにつき最大 8 件まで指定できます。
- ◆ サービス上での動作には対応していません。
- ◆ 本製品は処理時に“通常使うプリンタ”を変更します。本製品使用時には印刷処理を行わないようにしてください。
- ◆ AutoCAD 上でカラー表示される図面をモノクロフォーマットに変換する場合に、カラーの部分が
印刷結果に反映されないことがあります。そのような場合は、印刷時の色をモノクロに制御するように
設定された印刷スタイルテーブル(Monochrome.ctb など)を使用することで解決することがあります。